MITSUBISHI ELECTRIC

三菱パイプ用ファン

〔居室・トイレ・洗面所用〕

形　名	グリル形状	グリル色調	電源仕様	機能	24時間換気機能
V-08PS7	角形格子グリル	ホワイト	電源プラグ	電気式シャッター付	−
V-08PSD7	角形格子グリル	ホワイト	速結端子		−
V-12PS7	角形格子グリル	ホワイト	電源プラグ	電気式シャッター付	−
V-12PSD7	角形格子グリル	ホワイト	速結端子		−
V-08PJ7	角形格子グリル	ホワイト	電源プラグ	引きひもスイッチ付	−
V-12PLD7	角形格子グリル	ホワイト	速結端子	本体電源スイッチ付	●
V-12PPVS7	角形パンチンググリル	ホワイト	電源プラグ	風圧式シャッター付	−
V-12PPVSD7	角形パンチンググリル	ホワイト	速結端子	風圧式シャッター付	−

〔浴室・トイレ・洗面所用〕

形　名	グリル形状	グリル色調	電源仕様	機能	24時間換気機能
V-08PPLD7-T	角形格子グリル	ホワイト	速結端子	遅延タイマー付	●
V-12P7	角形格子グリル	ホワイト	電源コード直付	−	−
V-12PD7	角形格子グリル	ホワイト	速結端子	−	−
V-12PFL7	角形格子グリル	ホワイト	電源コード直付	強・弱切替タイプ	●
V-12PPS7	角形格子グリル	ホワイト	電源コード直付	風圧式シャッター付	−
V-12PPM7	丸形パンチンググリル	ホワイト	電源コード直付	−	−
V-12PPS7-T	角形格子グリル	ホワイト	電源コード直付	風圧式シャッター付	−
V-12PPMS7-T	丸形パンチンググリル	ホワイト	電源コード直付	風圧式シャッター付	−

据付説明書　　販売店・工事店様用

据付けを始める前に、誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を梱包外側の「警告」「注意」で説明しておりますので、この説明書とともによくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

据付終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。

■ 据付け、壁穴工事はお買上げの販売店・専門の工事店様が実施してください。
（間違った据付け、工事は、故障や事故の原因になります）
■ 電気工事は電気工事士の方が実施してください。
■ 形名をよく確認し用途にあった場所に据付けてください。
それ以外の用途には使用しないでください。
（故障の原因になります）
■ 形名によって据付方法が異なりますので、予めご使用の形名をご確認ください。
■ 直接屋外に排気する場合は、雨水浸入防止のためシステム部材（屋外フードなど）を据付けてください。
■ 雨水浸入防止のため外風の吹き付けの強い場所では風圧シャッター付深形フード（風圧式シャッター付機種は耐外風高性能フード）を据付けることをおすすめします。
■ V-08PPLD7-T、V-12PFL7と24時間換気機能を備えていない製品の運転・停止にはシステム部材または市販のコントロールスイッチが必要です。
※V-08PPLD7-Tのコントロールスイッチは$P\text{-}11SWL_2$、V-12PFL7のコントロールスイッチは$P\text{-}04SWLB_5$を推奨します。
上記コントロールスイッチをご使用にならない場合は、容易に停止されない工夫が必要です。
〔例〕● 常時運転すべきことを指示する注意書きの貼付けのあるもの。
● 切りボタン（OFFスイッチ）にカバーを設けた構造のもの。
● 長押しでOFFとなる構造のもの。
● 専用ブレーカーを設ける。
■ 接続パイプは市販品の塩化ビニル管または鋼板管のいずれかをご用意ください。

形　名	適用パイプ	付属部品
V-08PS7	塩化ビニル管 VP、VU（呼び径100㎜） 鋼板管（内径100㎜）	木ネジ2本
V-08PSD7		
V-08PJ7		
V-08PPLD7-T		
V-12P7	塩化ビニル管 VP、VU（呼び径150㎜） 鋼板管（内径150㎜）	
V-12PD7		
V-12PLD7		
V-12PFL7		
V-12PS7		
V-12PSD7		
V-12PPVS7		
V-12PPVSD7		
V-12PPS7		
V-12PPM7		
V-12PPS7-T		
V-12PPMS7-T		

1.安全のために必ず守ること

⇒梱包箱をご確認ください

2.据付前のお願い

- 高温（40℃以上）になるところに据付けないでください。
（故障の原因になります）
- 塩害、温泉害の発生している場所には据付けないでください。
（故障の原因になります）
- 燃焼機器の排気口の近くには据付けないでください。
（燃焼機器から排出された排気ガスが含まれた外気が、強風のときなどに室内に侵入すると、異臭などの原因になります）
- V-08PJ7は壁据付専用です。天井には絶対に据付けないでください。
（引きひもスイッチの操作ができなくなります）
- 風圧式シャッター付機種は壁据付専用です。天井には絶対に据付けないでください。
（シャッターが開かないため、換気風量が確保できなくなります）
- システム部材（屋外フードなど）は壁厚にあったものを選んでください。
（壁厚により据付けられないものがあります）
- 天井・壁板は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものを据付けてください。
- アルミフレキシブルダクトへの据付はしないでください。
（振動の原因になります）
- 効果的な換気を行うために給気口を設けてください。

3.各部のなまえと外形寸法図

●各部のなまえ　⇒裏面の取扱説明書の「3.各部のなまえ」をご確認ください

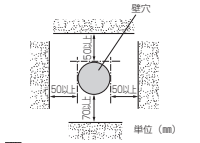
●外形寸法図　　⇒梱包箱をご確認ください

4.据付方法

1　据付前の準備　※V-08PJ7と風圧式シャッター付機種は壁据付専用です。

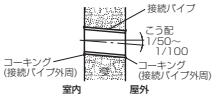
壁据付けの場合（壁穴への接続パイプの固定）

1. 据付場所を決めて壁穴をあける。
- 右図の壁穴位置をご確認ください。
- 接続パイプには塩化ビニル管の薄肉（VU）と厚肉（VP）管および鋼板管があります。壁厚に応じて長さを決めてください。
- 必ず床面より1800㎜以上のメンテナンス可能な位置に据付けてください。



お願い
- **据付位置は右上図の位置になるようにしてください。**
右上図の寸法より小さくなりますと製品が据付けられない場合やメンテナンスができなくなる場合があります。また、製品に電源スイッチを備え付けている機種では電源スイッチが操作できなくなる場合があります。

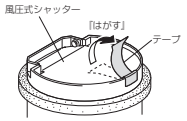
2. 壁穴に接続パイプを確実に固定する。
接続パイプと壁のすき間はコーキング処理を施します。
- 電源電線を室内に引き込んでから（電気工事参照）行ってください。
- 固定が不十分ですと振動したり異常音が発生する原因になります。
- 室内への水浸入を防ぐため、接続パイプは室内壁面まで差し込みます。



※接続パイプは壁面より室内側に出ないようにしてください。

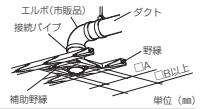
お願い
- **接続パイプは雨水の浸入を防ぐため屋外側に下りこう配をつけ、固定してください。**

3. 風圧式シャッター固定用テープをはがす。
（風圧式シャッター付のみ）
- 3 本体の据付け……の前に確実にテープをはがしてください。

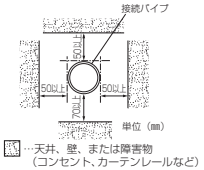


天井据付けの場合（野縁工事とダクト工事）

1. 下図のように野縁工事をし、ダクト工事をする。



タイプ	A	B
V-08タイプ	□120	□180
V-12タイプ	□170	□230

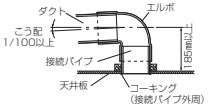


お願い
- **接続パイプが壁から右上図の位置になるようダクト工事を行ってください。**
右上図の寸法より小さくなりますと製品が据付けられない場合やメンテナンスができなくなる場合があります。また、製品に電源スイッチを備え付けている機種では電源スイッチが操作できなくなる場合があります。

2. ダクトの中心から天井板まで185㎜以上離して天井板を張る。

3. エルボと天井板の間は接続パイプを接続する。

4. 接続パイプと天井のすき間は、コーキング処理を施す。



※接続パイプは天井面より室内側に出ないようにしてください。

お願い
- **ダクトは雨水の浸入を防ぐため、屋外側に1/100以上の下りこう配をつけてください。**
- **天井板に強度がないときは補強材を入れてください。**

2　電気工事

電源電線の接続・電気工事などは、必ず専門の工事店へご依頼ください。

■ 市販のスイッチを使用される場合は適切なスイッチを選定して結線してください。
※浴室用機種は電気用品安全法の二重絶縁構造に適合しており、アース工事不要です。

⚠警告
- **交流100Vを使用する**
直流や交流100V以外を使用すると感電の原因。

⚠注意
- **電気工事は電気工事士の方が「電気設備に関する技術基準を定める省令（及び同解説）」及び「内線規程」に従って安全・確実に行う**
接続不良や誤った電気工事は、火災・感電の原因。
- **電気工事は電気工事店に依頼する**
感電の原因。

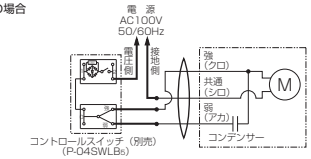
電源プラグタイプの場合

内線規程に基づくコンセントを室内の換気扇の近くに設ける。

電源コード直付タイプの場合

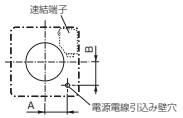
電線同士の接続を行う場合は電気工事士の方が「電気設備に関する技術基準を定める省令（及び同解説）」及び「内線規程」に従い実施してください。
- 防火ダンパー付フードを使用される場合、ダンパーが閉じるときは電源電線をはさまないように配線してください。
- 屋外に電源コンセントを設ける場合は雨の当たらないところに設けてください。

結線図……太線部分を結線してください。
■V-12PFL7の場合



速結端子タイプの場合

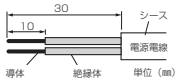
1. 電源電線を右図の位置から室内に引き込む。
- 電源電線はVVFφ1.6またはφ2.0　2芯をご使用ください。



単位（㎜）

タイプ	A	B
V-08PSD7	60±10	50±10
V-08PPLD7-T	50±5	60±5
V-12PSD7	75±10	55±10
V-12PD7, V-12PLD7, V-12PPVSD7	55±10	85±10

2. 電源電線の先端を右図に合わせて皮むきする。
- 端子部への水の浸入・ほこりの侵入を防ぐため皮むき寸法を必ず守ってください。



3　本体の据付け（壁据付け・天井据付けともに同様の据付けかたです）

1. 本体からグリルをはずす。

2. 結線をする。
電気工事は電気工事士の方が実施してください。

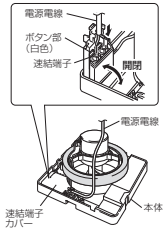
電源コード直付タイプの場合

電源コードと電源電線との接続は、電線に適合したリングスリーブなどを使用し、専用のカシメ工具を用いて確実にカシメ接続して絶縁処理をします。

速結端子タイプの場合

①速結端子カバーを右図のように開ける。
②電源電線を速結端子に差し込む。
③速結端子カバーを元通り閉じ確実に固定する。

お願い
- **電源電線は確実に速結端子に差し込みます。**
速結端子より導体が出ないようにしてください。
- **電源電線を軽く引いて速結端子に確実に固定されていることを確認してください。**
- **電源電線をかみ込まないように本体面に密着させて配線してください。**
- **電源電線を速結端子よりはずす場合は、ボタン部（白色）を押しながら電源電線を引き抜いてください。**

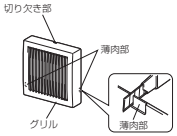


〈図は速結端子タイプ〉

電源プラグタイプの場合

■電源プラグを左右から出す場合
グリルの薄肉部を切り欠いてください。本体上部の切り欠き部は市販のテープなどでふさいでください。

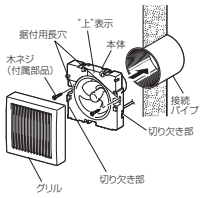
お願い
- **電源コードをかみ込まないように本体、グリルの切り欠き部から引き出してください。**



〈図はV-08PJ7〉

3. 本体の上下を確認して接続パイプに差し込み、付属のネジ2本で本体を固定する。
- 本体の刻印「上」を上側にして据付けてください。
- 左右の据付用長穴をご使用ください。必要に応じて上下部ネジ穴（V-12タイプ）をご使用ください。
- 石膏ボードに据付ける場合は、市販の石膏ボード用アンカーを必ず使用してください。

お願い
- **インパクトドライバーは使用しないでください。本体の固定部分が破損するおそれがあります。**
- **本体を接続パイプに差し込むとき、シャッター中央部（電気式シャッター付タイプ）に力を加えないでください。**
（シャッター開閉不良の原因になります）



〈図は角形格子グリルタイプ〉

4. グリルを本体に据付ける。
- グリルの方向を確認して、本体に据付けてください。

5. 以上の据付けが終了した後、本体とグリルが確実に据付けられているか確認する。

5.試運転

- 製品が運転・停止（電気式シャッター付タイプはシャッターが開閉）するかを確認してください。
製品に電源スイッチを備え付けている機種は「入・切」の状態を確認してください。
- 異常な音・振動などがないかを確認してください。